

菱垣廻船浪華丸の復元を回顧する

参加費無料

■ 講師: 安達 裕之 あだち ひろゆき

2022年5月28日(土) 14:00~16:00 Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)



帆走実験中の浪華丸 (1999年)

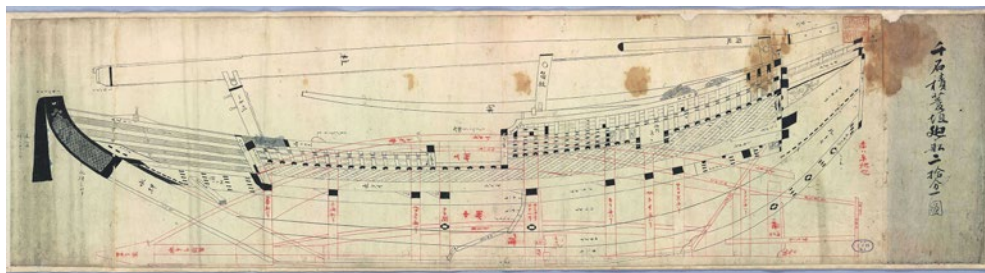
1994年6月、市制100周年を記念して大阪市は、「なにわの海の時空館」の目玉展示物とすべく弁才船の復元を企て、数ある弁才船の中から大阪と縁の深い菱垣廻船を復元船に選んだ。5年後の1999年7月、復元船は完成し、浪華丸と命名された。以来、四半世紀、弁才船についての新たな知見も得られたので、往時を回顧することにしたい。

■安達 裕之 (あだち ひろゆき) 日本海事史学会会員

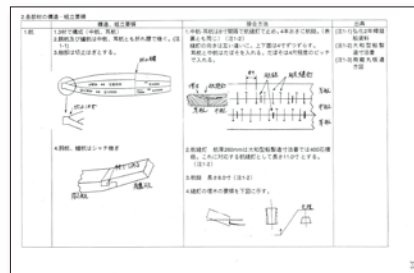
1947年大阪市生まれ、1972年東京大学工学部船舶工学科卒業、同教養学部勤務して、2012年に退職。東京大学名誉教授。専門は日本造船史。おもな著書:『異様の船-洋式船導入と鎖国体制-』(平凡社、1995年)



建造中の浪華丸 (1998年)



「千石積菱垣廻船二拾分一図」(部分) [国立国会図書館デジタルコレクションより]



浪華丸の仕様書

- 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。メールでお申し込みください。
※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。
お申込みいただいた方には5月25日(水)までにご連絡いたします。
- 会員にはメールでご案内をお送りしています。
メールが届いていない方は、右の申込先までお問い合わせください。

■ 申込〆切: 2022年5月24日(火) 正午(12:00)

■ 申込先: kaijishi.web@gmail.com (担当: 大野)

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み (非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日: 2022年6月18日(土)・7月23日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文科学、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回) / 総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

